

◎ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

総合人間自然科学研究科（修士課程）

○人文社会科学専攻

本専攻は、現代社会とりわけ地域社会の錯綜した課題に取り組む意欲を持ち、多様な視点から課題に取り組むことのできる人材を求めます。

○教育学専攻

現代の教育課題に応える専門的な学識や研究能力と高度な教育実践力を求める学生・教員及び社会人を受け入れます。

○理学専攻

理学専攻は数学・情報科学・物理学・化学・生物学・地学の各分野において学士課程修了程度の基礎学力を有し、自然科学の探求心旺盛な学生を受け入れる。また、境界領域に関心をもつ学生にも配慮する。

○医科学専攻

医科学コース

1. 生命科学分野の研究者・医学研究者として活躍したい学生
 2. 医療の分野・製薬企業において活躍したい学生
 3. 専門的な医療・福祉の教育により社会で活躍を希望する学生
- 将来、医学専攻（博士課程）への進学を希望する学生

情報医科学コース

1. 電子化医療データの解析による新たな規則等の発見や予測モデル、治療評価モデルの構築等を通じた医学研究の推進に興味のある学生
2. 豊かな学識と分野横断的な思考法を身につけ、博士課程に進学して研究を発展させたい学生
3. 電子化医療データの解析手法を身につけ、臨床検査機器メーカーや製薬企業等の医療系企業での活躍を目指す学生
4. 電子化医療データの解析手法や医療情報システム構築のための知識を身につけ、医療機関の情報部門や診療情報管理部門の担当者として活躍したい学生

○看護学専攻

1. 社会性と倫理性を身につけ、有能でかつ豊かな人間性をもち、看護を探究できる人
2. 教育と研究を通して、保健医療の一翼を担う質の高い看護を提供できる看護専門職を育成でき、社会の要請に応えようとする人
3. 看護研究を支える種々の看護学の基本理論、知識、実践スキルが習熟できている人で、論文作成などの一連の学習を意欲的にすすめることができる人
4. 臨床で活躍する社会人の方で、看護専門職として積極的な向上心を持つ人

多彩なコミュニケーションに意欲的に取り組み、多様な価値観と異なる文化を深く理解しようとする人

○農学専攻

20世紀は、「科学技術立国」の旗印の下に、数度のエネルギー危機を乗り越えて、各分野でめざましい科学技術の進展がみられました。我々の生活が一見便利・快適になった反面、汚染物質の排出、地球の温暖化、自然・環境の破壊など様々な負の効果をもたらしました。

人為的に破壊した自然・環境の修復・保全が希求の課題です。これらを達成するために、21世紀はこれまでもまして農学を主体とする境界領域の役割が大変重要で、不可欠と言われています。

高知県は、温暖帯から亜熱帯までの広い植生を持つ森林、施設園芸など食糧生産を受け持つ耕地、黒潮の恵みを受けた海を持っています。当選考では、これらの多様で豊かなフィールドを背景にして、一次産業の高度化、林業・林産業の活性化、水産資源の育成・管理、一次産業の基盤整備、防災、環境修復・保全、機能性食品等の分野で大きな成果を上げています。

これらの分野に興味と夢を持ち、将来の研究者・技術者を志す社会人を含めた多様で多才な人の入学を期待しています。また、現在も多く海外からの留学生を迎えています。さらに東南アジアを中心とした国際交流・連携を目指したアジアンフィールドサイエンスネットワークを構築しつつあります。将来、海外を拠点として上記研究分野で活躍したいと思われる方も大歓迎です。

総合人間自然科学研究科（博士課程）

○応用自然科学専攻

中国・四国地方で唯一太平洋に開かれた海洋高知の自然環境を生かして、応用自然科学専攻博士課程は、海洋と物質を2本柱にした高度な教育研究を行っています。海洋の未利用資源の探索・開発・保全を目標とする「海洋自然科学コース」と、新機能性物質・材料の開発や海洋生命科学の展開を目標とする「物質機能科学コース」は、正しい自然と豊かな知性、広い学識と国際感覚を持った高度専門職業人の育成を目指しています。加えて、他部局との協力や学外組織（海洋研究開発機構）との連携によって、境界領域や学際領域の研究開発を積極的に推進しています。理学の各分野及びその境界領域において修士課程修了程度の学力を有し、自然科学の研究心旺盛な国際的な視野を持つ学生を積極的に受け入れます。

○医学専攻

生命科学コース

1. 医学の分野に限らず、広い学問領域において高い基礎学力を身につけた人
2. 研究の成果を新しい医療に応用するという視点を持ち、トランスレーショナルリサーチを推進しようとする人
3. 国際的な視野に立って研究を推進しようとする人
4. 社会人として勤務しながら生命科学分野の研究に取り組む熱意と能力をもった人

5. 全人的医療を理解し、研究を通して社会との連携や国際交流・協力を推進しようとする人

医療学コース

1. 社会のニーズを適切に把握し、先端的医療への応用を目指した研究を展開しようとする人
2. 国際的に活躍する医学・医療分野の研究者を志す人
3. 人間の健康や疾病に関わる問題を、生物学的、物理・化学的環境要因さらには社会的、精神的環境要因あるいは法制度や情報システムなどの面で探索し、解決するための研究を展開しようとする人
4. 高度な専門的知識と技能を身につけた専門医を志す人
5. 研究によって地域保健、環境保健、国際保健、精神保健、法医学の現場に貢献しようとする人、あるいは将来、国内外の保健・医療・福祉分野における高度な教育・研究に携わる意思のある人
6. 自然科学から人文社会科学にわたるあらゆる分野の出身者が、それまで培われた知見や研究内容の特徴を生かし、学際性分野の発展に寄与しようとする人
7. 社会人として勤務しながら医学・医療・予防医学・保健医療分野の研究に取り組む熱意と能力をもった人

情報医療学コース

1. 電子化医療データの解析による新たな規則等の発見や病態推移予測のモデル構築等を通じた医学研究の推進に興味のある人
2. 電子化医療データの解析による「治療評価」、「診断支援」、「稀な事象の検出」などを通じて医療の質の向上へ貢献することに興味のある人
3. 電子化医療データの解析によって得られた知見を、疫学的あるいは臨床的な研究に応用してより精度の高い結果へ発展させることに興味のある人
4. 電子化医療データの解析による病態推移予測のモデル構築やその応用を通じて予防医学に寄与し社会への貢献を目指す人
5. 電子化医療データの解析による新たな規則性等の発見手法や「治療評価」、「診断支援」、「稀な事象の検出」の手法、病態推移予測等のモデルによる解析手法などを身につけ、臨床検査機器メーカーや製薬企業等の医療系企業での活躍を目指す人
6. 電子化医療データの解析手法を身につけ、医療機関に蓄積された電子化医療データに応用することによって、その施設の医療の質向上などに貢献したい人
7. 集団基盤的な医学研究の新しい分野を開拓し発展させる意欲のある人

○黒潮圏総合科学専攻

黒潮は、フィリピン東方の熱帯海域に源を発し、高知県の沖を流れ、亜寒帯海域にまで達する世界で最大規模の暖流の一つです。東南アジア諸国から東北アジア、日本に及ぶ広範な地域と海域（黒潮圏）、あるいは沿岸部から河川流域を経て山地まで（流域圏）において、そこに生活する人々や生物に多様な影響を及ぼしています。

黒潮圏総合科学専攻は、これら黒潮圏に関連する「資源」・「環境・社会」・「健康医

科学」を中心としたさまざまな専門分野を、総合的・学際的に研究・教育することを主たる目的とします。特に、黒潮圏諸国における自然環境と調和のとれた持続型社会の構築にかかわる基礎及び応用研究を行い、国内外に情報を発信することを目的とします。

本専攻では、特に以下の分野に興味や強い問題意識を持ち、高度の専門的知識を習得したい院生・社会人の方々の応募を期待します。

- ・ 黒潮圏における基礎・応用研究
- ・ フィールド研究
- ・ 黒潮諸国における地域研究
- ・ 国際的視野に立った研究
- ・ 近および長期未来の人間社会のあり方に関する研究
- ・ 新しい学問分野（黒潮圏科学）の創成

また、本専攻は、教育や人材育成に関して以下の様な目標を掲げます。

- ・ それぞれの分野に関する高度な専門知識を持つとともに、異分野の知識・視点をも兼ね備えた研究者や教育者の育成
- ・ 黒潮圏科学という新しい概念を身につけ、幅広い国際的視野を持った新しいタイプの研究者や教育者の育成
- ・ 黒潮圏科学に基礎をおき、幅広い国際的な視野を持つとともに、地域の産業界や経済界で活躍できる人材の育成
- ・ 社会の各層で活躍中の社会人に対しては、魅力的な研究・教育内容によるブラッシュアップ教育の実施
- ・ 東北・東南アジアの黒潮圏諸国との良好な関係の維持発展のために、留学生を積極的に受け入れ、研究者や教育者として育成